

**場所** 北海道札幌市

**面積** 7.32ha

**活動目的** 森林が果たす国土保全、水資源かん養、生活環境の保全等公益的機能の重要性に鑑み、社会貢献活動として、我が国の森林資源の維持増進に寄与するため国有林の分収育林制度を活用して、「国民参加の森林づくり」を行い、もって自然環境の保全・形成並びに地域社会への貢献に資するとともに、人々と自然のふれあい、社員相互の親睦と緑化思想の高揚を図ることを目的とする。



**サイト概要** 本サイトは、北海道札幌市街地から車で1時間半、札幌市南区の標高約600～730mの南東向き斜面に位置する国有林(自然林)である。植生は針広混交林であり、主に、落葉広葉樹のダケカンバやミズナラ、常緑針葉樹のトドマツが生育しており、多様な動植物が確認されている。林野庁の分収林制度「法人の森林」における既存の森林を整備する分収育林として、森林を長きに渡って保全していくことにより、水源かん養、国土保全、生物多様性の維持等に貢献するため「不伐の森林」として保有している。

- 土地利用の変遷** 従来から森林地帯(国有林)の一部として保全・利用されており、創業22周年を記念して、我が国の森林資源の維持増進に寄与するため、1995年に統治責任者と活動責任者間で分収育林契約を締結し、「法人の森林」として統治責任者が実施する森林整備に関する費用の一部を活動責任者が負担するとともに、自然観察会等のレクリエーションの場として活用している。
- サイト周辺の環境** 周辺はすべて国有林であり、札幌市の水道水の水源となっている豊平川の最上流部に位置する奥手稲の沢川に隣接している。また、サイトに続く林道入口は、道道1号小樽定山溪線に接し、春香山小屋や駐車スペースがあり、春香山や奥手稲山など周辺の登山の起点となっている。
- アピールポイント** 水源かん養、山地保全、環境保全への貢献度として、金額換算で年間約100万円分の便益(林野庁試算)をもたらしている。市民参加型の動植物調査であるフラワーソン(主催：公益財団法人 北海道新聞野生生物基金 北海道フラワーソン実行委員会)やザリガニソン(主催：ザリガニと身近な水辺を考える会 ザリガニソン実行委員会)などの調査フィールドとして、長期的な自然環境の現状把握を行っている。また、社員やその家族に対して、環境保全に対する意識の醸成を図ることを目的としたレクリエーションの場として活用している。加えて、自然環境調査に関する技術研鑽や新たな調査手法の導入に向けた試験フィールドとして活用している。

## 生物多様性の価値

## 価値（2）原始的な自然生態系が存する場

## 【場の概況】

本サイトは、区域全体が植生自然度9の自然林であり、胸高直径60～80cmの落葉広葉樹(ダケカンバやミズナラ)や常緑針葉樹(トドマツ)が多くみられる針広混交林である。山地帯～亜高山帯の多様な植物が生育し、多くの野生動物の生息地となっている。

## 【主な植生】

環境省の現存植生図(縮尺：1/5万)では、エゾマツ-ダケカンバ群落に区分されている。

## 【植生自然度】

植生自然度9

## 【確認された主な動植物など】

本サイトでは、植物55種、鳥類16種、哺乳類5種、昆虫類3種、甲殻類1種が確認されている。



写真の説明：サイトの林内の様子



写真の説明：サイト内のミズナラの巨木

## 生物多様性の価値

## 価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

## 【場の概況】

本サイトは、区域全体が植生自然度9の自然林であり、胸高直径60～80cmの落葉広葉樹(ダケカンバやミズナラ)や常緑針葉樹(トドマツ)が多くみられる針広混交林である。山地帯～亜高山帯の多様な植物が生育し、多くの野生動物の生息地となっている。

## 【主な植生】

環境省の現存植生図(縮尺：1/5万)では、エゾマツ-ダケカンバ群落に区分されている。

## 【確認された主な動植物など】

本サイトでは、植物55種、鳥類16種、哺乳類5種、昆虫類3種、甲殻類1種が確認されている。



写真の説明：フラワーソンでのリクリエーション風景



写真の説明：ザリガニソンでの調査風景

## 生物多様性の価値

## 価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

## 【場の概況】

本サイトは、区域全体が植生自然度9の自然林であり、胸高直径60～80cmの落葉広葉樹(ダケカンバやミズナラ)や常緑針葉樹(トドマツ)が多くみられる針広混交林である。山地帯～亜高山帯の多様な植物が生育し、多くの野生動物の生息地となっている。加えて、サイト内の谷部には小沢が存在し、湿生植物や水生生物なども生育・生息している。

## 【確認された希少種】

本サイト内では、天然記念物、種の保存法、環境省レッドリスト、北海道レッドリスト、札幌市版レッドリストに掲載されている種として、植物2種、鳥類1種、哺乳類1種、甲殻類1種が確認されている。

## サイトの活動計画・モニタリング計画

活動計画の内容	モニタリング計画の内容
<p>&lt;活動目的&gt; 森林が果たす国土保全、水資源かん養、生活環境の保全等公益的機能の重要性に鑑み、社会貢献活動として、我が国の森林資源の維持増進に寄与するため国有林の分収育林制度を活用して、「国民参加の森林づくり」を行い、もって自然環境の保全・形成並びに地域社会への貢献に資するとともに、社員相互の親睦と緑化思想の高揚を図ることを目的とする。</p> <p>&lt;活動内容&gt; 上述の価値(2)、(4)、(6)の保全に貢献するよう、以下の保全・利活用を行う。 ・現地における施設については、「エコニクスの森林」の自然を保全するという主旨からも、その設置については必要最小限に留め、木製看板及び遊歩道の整備(ササ刈りなど)を長期的に実施する(価値(2)、(4)、(6))。 ・野外活動を通して、社員が自然とふれあう機会を作るため、「エコニクスの森林開き」や観察会を行う(価値(4))。 ・サイト全域を対象とし、定期的な動植物モニタリング調査を行うとともに、調査結果や活動内容についてホームページなどを活用して情報発信する(価値(2)、(4)、(6))。</p> <p>&lt;実施体制、計画の点検・見直し&gt; 保全・利用活動およびその他の維持管理作業は、株式会社エコニクス自然環境部陸域担当チームの指導の下、社員が行う。 本活動計画は、毎年(年度末)に1回点検を行い、5年に1回改定予定。</p>	<p><b>【モニタリング対象】</b> 植物、鳥類、哺乳類、両生類・爬虫類、昆虫類、甲殻類を対象とする。</p> <p><b>【モニタリング場所】</b> サイト全域(モニタリング対象に応じて適宜設定)</p> <p><b>【モニタリング手法】</b> 植物(植物相調査)、鳥類(ライセンス調査)、哺乳類(自動撮影調査)、両生類・爬虫類(目視・観察調査)・昆虫類(任意採集調査)、甲殻類(捕獲調査)</p> <p><b>【モニタリングの実施時期及び頻度】</b> 実施時期：5月～10月 頻度：鳥類、哺乳類、両生類・爬虫類・・・2年に1回 植物、昆虫類、甲殻類・・・5年に1回</p> <p><b>【モニタリング実施体制】</b> 株式会社エコニクス自然環境部陸域担当チームの社員が中心となって実施。昆虫類の種同定は外部の専門家に依頼。</p>